事業番号

0009

		令和2年度行	亍政	事業レ	ビュ	ーシート		: 田 ク 法	多省)	
事業名	国際仲裁活性化基盤整備調査			担当部	邓局庁	大臣官房国際	際		作月	戊責任者	
事業開始年度	令和元年度 事業終了 令和5年度		度	担当	課室	-	-		国際課長 蝸	柴田 紀子	
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_		関係する 計画、通知等			「国際仲裁の活性化に向けた関係府省連絡会議」、「経済財政運営と改革の基本方針2019」、「成長戦略フォローアップ 2019」、「インフラシステム輸出戦略」、「知的財産推進計画 2019」					
主要政策・施策	知的財産		主要	経費	その他の事	項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	とを目的とする。								するこ		
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	我が国における国際仲裁の耳 設の整備等の各施策を包括的 実際に仲裁実施が可能な施言 内容等を踏まえた在るべき仲 策を検討する。	りかつ実効的に進め,国 役を確保し,同施設におし	際仲裁 いて現実	取扱件数の その仲裁審)増加, 問手続る	国際仲裁人材の を行う中で、人材で	増加につな 育成手法や	げるための調査 広報・意識啓発	検討を行う。記方法をはじめ,	間査に当たって 施設規模や	ては, 設備
実施方法	直接実施、委託・請負										
		平成29年度		30年度		令和元年度	ŧ	2年度	3	年度要求	
	当初予算	-		-		290		164		143	
	予算 前年度から繰越し	-		_						-	
予算額 · 執行額	の状 況 翌年度へ繰越し 予備費等	-		-		-		-			
(単位:百万円)	計	0	0			290		164		143	
	執行額	0		0		289					_
	執行率 (%)					100%	_		_		_
	当初予算+補正予算に対す	_		_		100%			_		_
	る執行額の割合(%) 歳出予算目	2年度当初予算		3年度要才	÷	100%		主な増減理	<u> </u>		_
A 7	国際仲裁活性化調査委託			142		国際仲裁活性化	上調査委託				
令和2·3年度 予算内訳	費 職員旅費	1		1							
(単位:百万円)	N	164		143							
								中間目標	目標最終	年度	
	定量的な成果目標	成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	- 年度		度
成果目標及び 成果実績	委託調査を着実に実施し、			成果実績	件数	. –	-	13	-	-	
(アウトカム)	その結果を施策に反映さ せることにより, 日本にお	日本における国際仲扱件数	裁取	目標値	件数	. –	-	-	-	60	
	ける国際仲裁取扱件数の 増加につなげる。	1X IT 3X		達成度	%		-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	JCAA又はJIDRCの東京・	大阪の施設における耳	D扱件	数の総和	〔重複は	は除く。)		•			
	定量的な成果目標	成果目標 成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終3	年度 度
成果目標及び	受託者が実施するセミ	理解が明ふだ言士	+- LI	成果実績	%	-	-	75	-	-	
成果実績 (アウトカム)	ナー・シンポジウムの参加者に対するアンケート調査	答した者の割合/ア		目標値	%	-	-	80	-	80	
	において,理解や関心が高まったと回答した者の割合を80%以上とする。		均値	達成度	%	-	-	93.8	_	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-タ名 受託者が実施したセミナー・シンポジウムにおける参加者へのアンケート調査結果										
	定量的な成果目標	成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年	年度
成果目標及び 成果実績	受託者が実施する人材育	毛塚めか≅圧をした	*~=	成果実績	%	-	-	97.6	-	-	
(アウトカム)	成研修の受講者に対するアンケート調査において,	積極的な評価をした。 合/アンケート回答者		目標値	%	-	-	80	-	80	
	積極的な評価をした者の害 合を80%以上とする。	※各研修の平均値		達成度	%	-	-	122	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	受託者が実施した人材育成	艾研修における受講者 ・	へのア	ンケート訓	青 在結果	1		•			

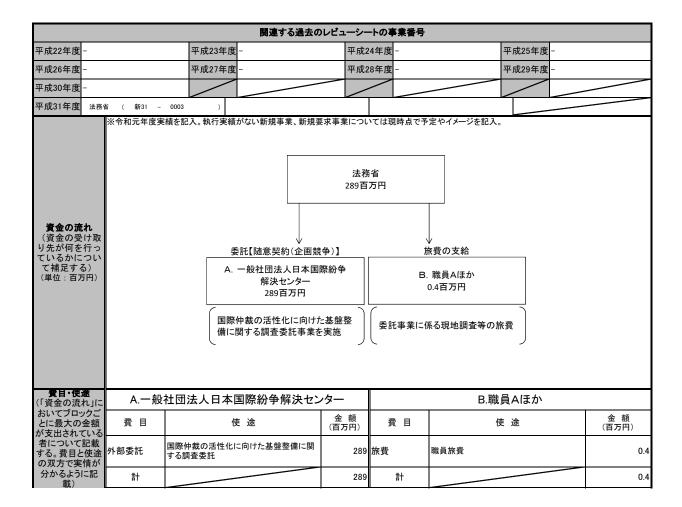
動指標	里7 57	78	活動指	標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
活動実	ミ綾			活動実績	人数	-	-	840	-	_	
, ,,,	· / / .		文託有が実施するできり一つ	ンホンウムの参加有数	当初見込み	人数	-	-	800	850	-
動指標	■ 75 7	78	活動指	票		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
活動実	E續		受託者が実施する人材育成研修の受講者数		活動実績	人数	_	-	420	_	-
, ,,,	, JI.,	,	文託有が実施する人材育成研	当初見込み	人数	_	-	400	450	-	
		算出根拠			単位当たり	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	医活動見込
単位当コス		ı	受託者が実施するセミナー・シ	が実施するセミナー・シンポジウム及び人材育		千円	-	-	7.7		6.2
	'		成研修実施経費/セミナー・シンポジウム及び人材育 成研修参加者数			千円/人数	-	-	9,758 /1,260	8,00	00/1,300
	政	策	司法制度改革の成果の定着に向けた取組(I-2)								
	施	策	国際仲裁の活性化に向けた基	盤整備(I -2-(5))							
			定量的指	標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度
			_		実績値	-	-	_	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
政	3	測	定性的指標目標			目標年度		施	策の進捗状況	兄(目標)	
政策評	5	測定指標					「国際仲裁活性化基盤整備調査」の実施等を通じて、国際仲 活性化に向けた基盤整備を行う。				
価	, 1	標								€施等を通じ [~]	て, 国際仲裁
価	· 相		「国際仲裁活性化基盤整備調 香」の実施状況及び調本結果	「国際仲裁活性化基盤素				ナた基盤整			て,国際仲裁
価	4		「国際仲裁活性化基盤整備調 査」の実施状況及び調査結果 に基づく必要な取組の実施状 況	「国際仲裁活性化基盤整の実施等を通じて、国際 活性化に向けた基盤整	仲裁の	元	活性化に向い 令和元年6月 仲裁人・仲裁 務、審問手総 効的に実施し	けた基盤整 施 引から「国際 は代理人等の ための しながら、国	備を行う。 	記(実績) 基盤整備調査 企業等に対す いった各施策	」事業を開始 る広報・意識 を包括的か
価	4		査」の実施状況及び調査結果 に基づく必要な取組の実施状	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(付裁の 備を行う。		活性化に向い 令和元年6月 仲裁人・仲裁 務、審問手総 効的に実施し	ナた基盤整施 施引から「国際 を代理人等の た等のための しながら、国 では では では では では では では では では では では では では	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化表の人材育成、1 り施設整備とし際仲裁の活性	記(実績) 基盤整備調査 企業等に対す いった各施策	」事業を開始 る広報・意識 を包括的かっ
価	国 国	国内が	査」の実施状況及び調査結果 に基づく必要な取組の実施状	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の身施等を通じて国際	併裁の活 (仲裁の活)	対施策・測性化に向!	活性化に向い 令和元年6月 仲裁人・仲裁 発効的に実施 り方について 定指標との関	けた基盤整施 施引から「国際の 技代理人等の しながら、国 しながら、国 でする検討を	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化 り人材育成、L り施設整備と 際仲裁の活性 行っている。	では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	」事業を開始 る広報・意識 を包括的か 有効な施策の
価	国策	国内が	査」の実施状況及び調査結果 に基づく必要な取組の実施状況	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の身施等を通じて国際	併裁の活 (仲裁の活)	対施策・測性化に向!	活性化に向い 令和元年6月 仲裁人・仲裁 発・審問手総 効的に実施し り方について 定指標との関	けた基盤整施 施引から「国際の 技代理人等の しながら、国 しながら、国 でする検討を	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化 り人材育成、L り施設整備と 際仲裁の活性 行っている。	では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	」事業を開始 る広報・意識 を包括的か 有効な施策の
新経	国策 取事	11内外に反に反	査」の実施状況及び調査結果に基づく必要な取組の実施状況 小の広報・意識啓発、人材育成 ³ 映することにより、国際仲裁の	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の 等の実施等を通じて国際活性化に向けた基盤が基	併裁の活 (仲裁の活)	対施策・測性化に向!	活性化に向い 令和元年6月 仲裁人・仲裁 発効的に実施 り方について 定指標との関	けた基盤整施 施引から「国際の 技代理人等の しながら、国 しながら、国 でする検討を	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化 り人材育成、L り施設整備と 際仲裁の活性 行っている。	では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	」事業を開始 る広報・意識 を包括的かつ 有効な施策の その結果を加 をの結果を加
価 新経済・	国策 取事 (第一	内に 知項 ドー	査」の実施状況及び調査結果に基づく必要な取組の実施状況 小の広報・意識啓発、人材育成なで映することにより、国際仲裁の分野:	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の 等の実施等を通じて国際活性化に向けた基盤が基	併裁の活 (仲裁の活)	性化に向い	活性化に向い 令和元年6月 仲裁人・仲裁外のに実施しり方について 定指標との関う ナた有効な施 計画開始時	けた基盤整施 間から「国際の は代理人ための した。 したの、国 をがら、国 をがら、国 を がある検討を は 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活官成、引入 所設整備活性 の際仲裁の活性 で行っている。	記(実績) を整整備調査 を業等に対す いった各施策 生生化に向けた	」事業を開始 る広報・意識 を包括的かな 有効な施策の その結果を をの結果を
新経済・	本 国策 取事 (第一階層	内に 知項 	査」の実施状況及び調査結果に基づく必要な取組の実施状況 小の広報・意識啓発、人材育成なで映することにより、国際仲裁の分野:	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の 等の実施等を通じて国際活性化に向けた基盤が基	では、 ・ は、 ・ は、 、 は、	性化に向いる	活性化に向いる	ナた基盤整施 施 開から「国際の 長代等のため国人等ののため、国際の たいな変換を対する。 は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化。 り人材設整備活性 を行っている。 について調査	では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	」事業を開始 る広報・意識な を包括的かで 有効な施策の その結果を加 目標最終年
新経済・	国策 取事 (第一	内に 知項 	査」の実施状況及び調査結果に基づく必要な取組の実施状況 小の広報・意識啓発、人材育成なで映することにより、国際仲裁の分野:	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の 等の実施等を通じて国際活性化に向けた基盤が基	中裁の 備を行う。 成果と上位 中裁の活る 成果実績	対施策・測性化に向い。	活性化に向いて 令和元年6月 令和元年6月 中義、審明手施り方について 定指標との関う ナた有効な施 計画開始時 - 年度	ナた基盤整施 施 開から「国際の表 作等のため」 は	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化。 のかに設すのでは、 のかに対する。 ででいる。 について調査 と年度	は実績) を整整備調査 企業等に対策 とないった各施策 生化に向けた 検討を行い、 中間目標 - 年度	」事業を開始 る広報・意識 るを包括的かつ 有効な施策の その結果を加 をの結果を加 をの結果を加 をの結果を加 をの結果を加 をの結果を加 をの結果を加 をの結果を加 をの結果を加
価 新経済·財政再生計	国策 取事 (第一階層) (内に 組項 (ドード・) トランド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	査」の実施状況及び調査結果に基づく必要な取組の実施状況 小の広報・意識啓発、人材育成なで映することにより、国際仲裁の分野:	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の実施等を通じて国際活性化に向けた基盤が基	中裁の 成果と上位 仲裁の活される 成果実績 目標値	性化に向いる	活性化に向いた	ナた基盤整施 同から「国際の 国際の 国際の 国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の 大に、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の に、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の は、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、国際の に、因 に、国際の に、因 に、因 に、因 に、因 に、因 に、因 に、因 に、因 に、因 に、因	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化よ1 分人が設整の備と性ででいる。 について調査	は実績) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	」事業を開始 る広報・意識の を包括的かな 有効な施策の その結果を加 ー ー ー
価 新経済·財政再生計	国策 取事 (第一階層) (第二	内	査」の実施状況及び調査結果に基づく必要な取組の実施状況 トの広報・意識啓発、人材育成なで映することにより、国際仲裁の分野: - KPI (第一階)	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の実施等を通じて国際活性化に向けた基盤が基	中裁の 成果と上位 仲裁の活される 成果実績 目標値	性化に向い。 単位 - - %	活性化に向いる	ナた基盤整施 施 開から「国際の 国際の 国際の 大等のがら、対象の でいる では、 一	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活育性化 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	は、実績) は、整整備調査を企業等に対称を発生された。 は、対象を持たが、 は、対象を行い、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業を開始 る広報・意識のかっ 有効な施策の その結果を加 日標最終年 - - - -
新経済・	国策 取事 (第一階層) (内	査」の実施状況及び調査結果に基づく必要な取組の実施状況 トの広報・意識啓発、人材育成なで映することにより、国際仲裁の分野: - KPI (第一階)	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の実施等を通じて国際活性化に向けた基盤が基	中裁の 成果と上位 様 裁される 根果 を は 表 は 表 は 表 は 表 は 表 は ま ま 様 値 達 成 度	立施策・測性化に向い。 単位 - - % 単位	活性化に向いて	ナた基盤整施 周から「国等の表になるを検討する」 「国際の表になるを検討する」 「国際のの表になるを検討する」 「国際のでは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化。 の	は、実績) を整整備調査する となった各に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方に方	事業を開始 る広報・意識のかっ 名を包括のかっ 有効な施策の その結果を加 一
価 新経済·財政再生計	国策 取事 (第一階層) (第二	内	査」の実施状況及び調査結果に基づく必要な取組の実施状況 トの広報・意識啓発、人材育成なで映することにより、国際仲裁の分野: - KPI (第一階)	の実施等を通じて、国際活性化に向けた基盤整(本事業の) 本事業の実施等を通じて国際活性化に向けた基盤が基	神 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	性化に向い。 単位 - - 96	活性化に向いる	ナた基盤整施 周から「国等の表になるを検討する」 「国際の表になるを検討する」 「国際のの表になるを検討する」 「国際のでは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	備を行う。 策の進捗状況 仲裁活性化。 中裁活育成備と の際仲裁の の際中ないる。 について調査 2年度 - - - 2年度	では、 ・ は、 ・ は、	事業を開始 るた報・意能のかつ 有効な施策の その結果を抗 一

	事業所管部局による点検・改善									
			項目	評価	評価に関する説明					
国	事業の目的	は国民や社会のニース	でを的確に反映しているか。	0	本事業は、自民党「司法制度調査会2019提言 司法システムの新たな展開〜3つの視点と4つの柱〜」及び公明党「成長戦略2019―課題解決型イノベーションの創造と経済社会の持続的発展―」でも要請されており、民間の経済団体、弁護士会、関連団体等からも要請されている事業である。					
費投入の必要	地方自治体	、民間等に委ねることが	ができない事業なのか。	0	本事業は、民間における活動の結果、国際仲裁の利用が低調に推移していたことから開始したものであり、政府として積極的に推進すべきものである上、諸外国と比較して我が国が国際的な紛争解決の中核となるための基盤整備に必要な事業である。					
性	政策目的の 事業か。	達成手段として必要か	つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い	0	本事業は、国際仲裁の活性化に向けた基盤整備を達成するために必要かつ適切な人材育成、広報・意識啓発、施設整備を内容とするものである。また、政策目的を達成するための手段として、民間に委託することが適切であり、我が国の投資環境を整備するため、他の事業に比して緊要性・優先度が高いものである。					
	競争性が確	保されているなど支出	先の選定は妥当か。	0	調査委託の選定には、専門的な知見に基づく民間事業者の					
		競争契約、指名競争契 応札又は一者応募とな	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、	有	提案を受け入れることが可能な企画競争方式を選択し、公 募により参加者を募集して、あらかじめ具体的に定めた複数					
	l	生のない随意契約となっ		無	の採点項目により客観的に評価することで、調達プロセスの 競争性、透明性及び公正性を担保した上で実施した。					
	受益者との	負担関係は妥当である	ታか。	-	-					
事業の	単位当たり	コスト等の水準は妥当が	ό ν 。	0	事業目的に照らして適切な単位当たりコストとなっている。また、費用対効果及び費用便益比に照らし、適切である。					
効率	資金の流れ	の中間段階での支出に	は合理的なものとなっているか。	-	-					
性	費目・使途か	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。	0	支出は、事業目的に沿った使途のみ、受託者が、事業目的 に即し、専門的な観点から適切な対象を選定して実施してい る。					
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-					
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	-					
	その他コスト	-削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。	-	-					
	成果実績は	成果目標に見合ったも	のとなっているか。	0	事業は、事前の調査研究の結果に基づいて企画されたものであるところ、事業初年度である令和元年度の成果実績は、成果目標に見合ったものといえる。					
事業の		当たって他の手段・方 低コストで実施できてい	法等が考えられる場合、それと比較してより効果 いるか。	0	関係団体と連携の上、外部委託の活用によりコストを縮減している。					
有効	活動実績は	見込みに見合ったもの	であるか。	0	活動実績は、見込みを達成している。					
性	整備された	施設や成果物は十分に	-活用されているか。	Δ	整備された施設のうち、大阪の施設は、パイロットプロジェクトとして活用されたが、東京の施設は、令和元年度末に開業したため、今後活用を進めていく。また、成果物である広報小冊子も、令和元年度末に発刊したため、今後活用する。					
関連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-					
事業	所管府省名 事業番号 事業名									
点検・改	我が国における国際仲裁の活性化のため、令和元年6月から「国際仲裁活性化基盤整備調査」事業を開始しており、仲裁人・仲裁代理人等 点検結果 人材育成、企業等に対する広報・意識啓発、審問手続等のための施設整備といった各施策を包括的かつ実効的に実施しながら、国際仲裁の 活性化に向けた有効な施策の在り方について調査検討を行い、着実に取組を進めている。									
善結果	改善の 方向性 事業の効果や効率性に留意しながら、我が国における国際仲裁が活性化するよう、引き続き取組を推進していく。									

外部有識者の所見

本事業においては、アンケート調査結果は政策目標の達成度合いと直接に関連するものではなく、アウトプット指標と位置付けることが適切ではないか。実際の仲裁取扱件数については社会情勢など偶然的な要素の影響もあると想定されるので、実施能力自体を示す指標設定についても検討すべきである。 国際人材育成は重要な課題であり、仲裁人や仲裁代理人の増加も目標としている。仲裁人や仲裁代理人の数の把握が可能であれば、それを成果目標値に設定する検討を実施されたい。 (井上東委員、大屋雄裕委員、竹澤香織委員)

(开工术女员,	开上不安兵, 八庄&*** 门(产目®女兵)						
	行政事業レビュー推進チームの所見						
通現 り状	引き続き効率的な予算の執行に努められたい。						
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 り状 通	広報・意識啓発及び人材育成は,中長期的な観点から取り組むべき課題であり,本事業年度内にその成果を計ることは困難であるが,今後,外部有識者の所見も踏まえ,より適切な指標を設定することができるか検討してまいりたい。						
	備考						



支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人日本 国際紛争解決セン ター		国際仲裁の活性化に向けた基盤整備に関する調査 委託	289	随意契約 (企画競争)	1	100%	

В

8	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A		職員旅費	0.1	その他	-	-	-
2	職員B		職員旅費	0.1	その他	-	-	-
3	職員C		職員旅費	0	その他	_	_	-
4	株式会社日本旅行	1010401023408	職員旅費	0	その他	_	-	-
5	職員D		職員旅費	0	その他	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	プロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	Α	一般社団法人 日本国際紛争 解決センター		国際仲裁の活性化に向けた基盤整備に関する調査 委託	781	随意契約 (企画競争)	1	100%	